



特集 学習情報 第9回全国生涯学習フェスティバル

視 点 孤独から連帯へ
ひろば 心豊かに
サークル交流 劇団「猫」(栃尾市)
クラオケ愛好会(朝日村)
素顔拝見 金子久美子(三条市嵐南公民館)
星名知彦(川西町中央公民館)

表紙 次第浜集落に伝わる
七日盆舟流し
(聖籠町公民館)

第 1 回理事会・評議員会開催

平成九年度 基本方針・重点事業

リストラへの対応を踏まえて

◆基本方針

- (1) 職員の資質向上
- (2) 情報提供の充実
- (3) 県公連の体質強化

◆重点事業

- ① 研修事業の充実
- ② 「月報」紙面の刷新・充実
 - ・地区公連等情報交換の密接化
 - ・関連行政機関・団体との連携強化
- ③ 県・市長会・町村会及び県当局の理解・援助の要望
 - ・自己財源確立のための検討



5月27日県公連第一回理事会(午前)・評議員会が新潟市中央公民館で開催された。

全評議員のうち32名が出席で会議は成立。

来賓には原生涯学習推進課長田口重憲氏、同課副参事中原根勝彦氏をお迎えして定刻に開催された。

ご来賓を代表して田口課長からご祝辞をいただいた後、議長に河端副会長を選任、議事入り。

◆審議内容

- 一、平成八年度会務報告並びに歳入歳出決算の承認
- 二、平成九年度基本方針・重点事業並びに事業計画と予算案の承認
- 三、報酬支給規程の一部改正についての承認
- 四、第48回県公民館大会(要項案は既報)は、原案とあり承認。
- 五、県公連会則第11条第2項により、前事務局局長上村捨二郎氏の顧問委嘱について全会一致、満場の拍手で承認された。

◆報告・連絡事項

一、今井会長より
 ○第38回関プロ大会では第14分科会環境学習部会が当県の担当となり、新潟市坂井輪地区公民館が取り組んでいる「坂井輪地域学」について提案発表することとなった。また、司会、助言者も坂井輪地区公民館関係者から選り報告してある。
 ○第20回全国公民館研究集会では、隣県であり、近いということ、第9分科会高齢者の学習部会中で中野・板倉町高齢者大学院から基調発表してもらう予定(関東ブロック理事会で内定)
 二、事務局よりの連絡
 (1) 優良公民館・永年勤続表彰等の推薦者の提出等
 (2) 今年度公民館月報の原稿執筆割り当て一覧表の配布
 (3) 第9回全国生涯学習フェスティバルのパンフレット配布
 (4) 平成九年度市町村負担金一覧表
 (5) 下越公連 役職員研修

◆情報交換

各郡市公連の持ち寄り資料の情報交換を各公連からコメントしてもらったが、大変効果的であった。

関プロ理事会開催さる

○平成9年5月29日・30日
 ○千葉県木更津市民会館

◆審議内容

- (1) 8年度事業報告・決算報告
- (2) 9年度役員選出
- (3) 9年度事業計画・予算
- (4) 38回関プロ研究大会
- (5) 20回全国公民館研究集会

新任公民館職員におすすめするハンドブック

公民館経営の手引

公民館運営審議会委員の手引

社会教育学級等における

学習計画立案の手順と方法

横浜国立大学教授 吉川 弘著

B5版 62ページ
 500円 (送料別費)
 B5版 62ページ
 500円 (送料別費)
 B5版 44ページ
 500円 (送料別費)

平成9年度 新潟県公民館連合会役員名簿

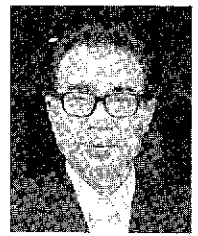
平成9年5月31日現在

郡市名	役職名	氏名	所属公民館	
新潟県 下越地区	会長	今井昭友	新潟市中央公民館	
	副会長	○神田武弘	新潟市市民館	
	理事	松井敏夫	新潟市中央公民館	
		鈴木武夫	村上中央公民館	
	理事	○長谷川紘吉	燕市中央公民館	
		○伊藤吉博	五泉市公民館	
	中越地区	副会長	井部和夫	白根市中央公民館
			古田芳樹	豊栄市中央公民館
		理事	長谷川正夫	加治川村中央公民館
			○山際新一郎	横越町中央公民館
		理事	○斎藤久夫	黒崎町公民館
			○平田琢也	津川町公民館
理事		○武部治雄	赤泊村公民館	
		○吉田恵明	長岡市中央公民館	
理事		○西川辰二	三条市中央公民館	
		○吉澤近藤	柏崎市柏崎公民館	
理事	○須藤貞雄	小千谷市公民館		
	○矢口辰幸	加茂市公民館		
理事	○北村弘文	十日町市公民館		
	○今井志崇	見附市中央公民館		
理事	○目黒一明	栃尾市公民館		
	○土屋禮士	下田村中央公民館		
理事	○角田三夫	寺泊町公民館		
	○阿部昭二	榑之内町公民館		
上越地区	副会長	河端川守	上越市立公民館	
	理事	○山崎山	糸魚川市中央公民館	
上越地区	理事	○大塚敬一	新井市公民館	
	理事	○堀田美紀	清里村公民館	
上越地区	理事	○堀田美紀	清里村公民館	
	理事	○堀田美紀	清里村公民館	

○印 平成9年度新任

視

「ブルーに入りたくない。給食を食べたくない。だから、学校に行きたくない。」等の児童が増えていると聞く。学校は、不登校を恐れて「楽しい学習」を追求し続けている。このことは大切なことで



あるが、興味・関心が多様化して知的好奇心が薄くなってきている児童が多い中、すべての児童を授業に集中させることは不可能に近い。今、子供たちは、孤

孤独から連帯へ

古沢章四

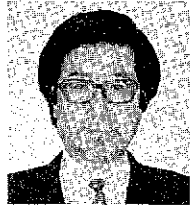
独の中で人間関係に悩み、個性の低下をきたしている。また、便利な社会に慣れて工夫を忘れ、科学する心をなくしてきている。更に基礎体力の減少と共に

成人病の低年齢化まで指摘されている。これらは授業を成立させる基盤であり、授業以前の課題である。学校の努力だけでは解決できないことではない。

子供たちは興味関心のあるものだけを追い求め、文化的に孤立している。学校も孤独で、専門性を発揮できなくなってきた。家庭も地域も教育的に孤独で悩んでいる。

この背景には、学校任せの中で、「子供に口や手を出せなくなった大人」「生活をなくした家庭」「利益だけを追い求めようとする社会」がある。

心豊かに



松橋喜彦

「きのう、すっごくたのしかったよ。一等賞になっちゃった。」雪が降る寒い時期にもかかわらず、公民館主催の行事に参加した子供たちは、満面に笑みをたたえて一日の様子を報告する。ゲームに勝ったうれしさだけではない。あのお

ひろば

じさんはすごかった、おもしろかったと語る目に、老若併せた地域の人々と触れ合う喜びが垣間見える。

時代の趨勢で、週休二日制の採用が多くなった。学校でも、月に二回実施されている。五年後あたりには完全実施に踏み切られ、家庭や地域で生活する時間が益々多くなる。この時間で創造性の素地となる資質や豊かな感性、社会性などを培いたいとするのが、五日制導入の趣旨である。異年齢(同年齢)集団での遊び、自然との触れ合い、スポーツや文化活動、奉仕活動などの体験の場や機会の拡充が望まれる。心の豊かさを求めるのは国民の志向である。仕事に追われ

る日々であるからこそ、休日の一時を地域の仲間と共に過ごす場や機会が必要となる。そこには思わぬ収穫があり、明日への鋭気が養われる。

平均寿命が八十歳を越え、長寿社会に入っている。心豊かに生きるため生涯学習体系への移行が早急の課題である。学校では社会教育との接点を探りながら、生涯学習が続ける基礎を培う努力をしている。学校教育をも視野に入れた、全人のニーズに応える門戸を開いておくことが肝要であろう。

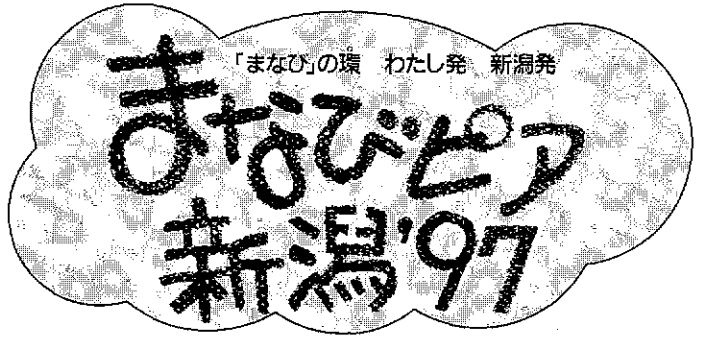
関係行政機関や各種団体とが幅広く連携することで、既述の課題の解決が図られる。冒頭の例示のように、公民館が果たす役割は大きい。十分な補償もないまま、休日を返上して活動に赴く担当者に頭が下がる。彼等がいてこそ、地域住民に感動体験を提供できる。各地の創意ある公民館活動を交換し、地域のニーズに「層即した活動が展開されることを願ってやまない。」

(名立町公民館 運営審議会委員)

情報

学習フェスティバルー

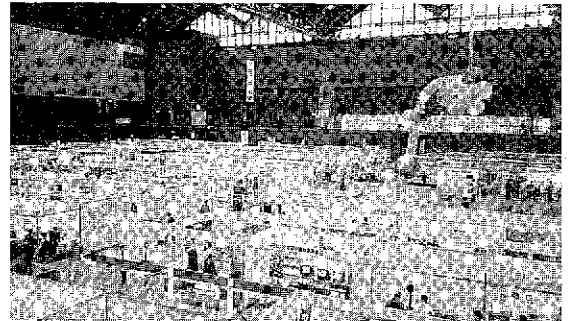
10月開催予定の全国生涯学習フェスティバルーを、いたすこととし、特集いたしました。をできるだけ活用いたしました。



■期間/平成9年10月9日(木)~10月13日(月) ■開催地/新潟市・長岡市・上越市・新発田市・小出郷地域圏・佐渡地域圏

まなぶ意欲を応援します! 情報満載ー生涯学習見本市

生涯学習見本市は、企業・団体・市町村等が、生涯学習に関連する多様な情報、学習機器、サービス、まちづくりの実践例などの紹介や展示を通して、皆様にさまざまな「まなび」との出会いを提供し、一人ひとりの生涯にわたる学習活動実践のきっかけとしていただくものです。あらゆる世代の人々が楽しむための素材、情報が一杯です。ぜひ、ご家族揃ってお出かけください。



まなびピア福岡'96 より
(生涯学習見本市会場)



(生涯学習見本市新潟県・新潟市ブース)より

毎朝10時にオープンする生涯学習見本市には、発見、驚き、喜びに満ちた六つのテーマゾーンに県内外から多数の出展団体が集結します。隣接する生涯学習体験広場(マナビィ広場)への来場者も含めた多数の人々との出会いや、新しい交流の環を広げることができます。

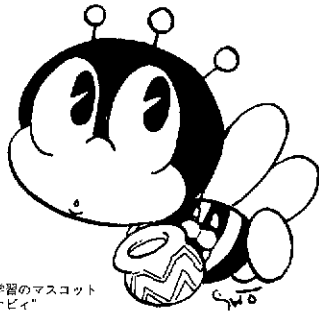
プライベート インターカレッジ・ラ・ラ・フェスタ

——— 長岡市会場 ———

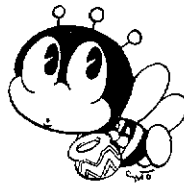
- (1)日 時/平成9年9月7日(日)午後1時~4時30分
- (2)会 場/長岡市立中央図書館 2階 講堂
- (3)講 座/「交流の広がり一朝の1時間の活用ー」
「未来の学びーハイテクとローテクの絶妙の組み合わせをー」
「文化のまちづくりをめざして」
- (4)問い合わせ先

長岡短期大学 織田善愷教授
長岡造形大学 平井邦彦教授
長岡技術科学大学 根木 昭教授

受講者を募集しています。詳しくは、
長岡市教育委員会生涯学習課 Tel 0258(39)2240までどうぞ。



生涯学習のマスコット
「マナビ」
デザイン：石ノ森章太郎



学 習

— 第9回 全国生涯

今回は、「学習情報」提供と銘打ち、
ティバルは当公民館連合会も全面協力
臨場感醸成のため、大会事務局の資料

— インターカレッジ・ラ・ラ・フェスタとは —

県民に開かれた生涯学習の場として大学等高等教育機関が、フェスティバルの6つの「基本方針」をテーマとした公開講座を開催するものです。県内の各大学等がそれぞれの個性特色を活かしながら、県民に多様な質の高い「まなび」の機会を提供するものです。

■ プレイベント 紹介

新潟市 会 場

インターカレッジ・ラ・ラ・フェスタ の開催

- ◆日 時 / 平成9年9月27日(土) 及び9月28日(日) 両方とも13:00から16:30まで
各2講座(①13:00~14:30 ②15:00~16:30)
- ◆会 場 / 新潟県立生涯学習推進センター(ホール) 新潟市女池2066番地 TEL284-6110
- ◆定 員 / 各講座 180人

■ テーマ及び講師名

●9/27(土)① 13:00~14:30
「自己実現の旅—あるアメリカ家族のドラマ—」

新潟国際情報大学 教授 内山鉄二郎

人は如何にして自己実現をするか。現代アメリカを代表する劇作家アーサー・ミラーの名作『セールスマンの死』の家族を取り上げて考えてみます。このドラマはわが国でもしばしば上演されその都度深い感銘を与えました。セールスマンとして成功したい父。父に逆らって別の生き方を探す長男。二人をしっかりと見守る母。充実した人生を目指そうとするそれぞれの生き方に、私たちはあらためて自己実現とは何かを考えさせられます。

●9/28(日)① 13:00~14:30
「地球と人間」

敬和学園大学 教授 菅野 浩

地球は「宇宙のオアシス」といわれていますが、なぜそのような星になりえたのか。いくつもの幸運な条件が重なって与えられて人が住める星になったのです。46億年前に創成された地球上に生命が誕生したのはほぼ10億年後、そのあとの進化によって人が出現したのはごく最近です。産業革命以後とくに豊かで便利な生活を目標に人類は走り続けてきましたが、はたして目前に迫っている次世紀はバラ色でしょうか。これらの問題を考察します。

●9/27(土)② 15:00~16:30
「水の構造と性質—水をめぐる環境問題を考えるために—」

新潟大学 教授 増田 芳男

私達が住む地球は、その表面の2/3を液体の水である海洋によって覆われており、まさに地球は「水の惑星」と呼ぶにふさわしい様相を呈しています。水はH₂Oと書かれる簡単な化合物です。しかし、水のもつ特異な性質が地球上に生命をもたらし、生物を育んできました。本講座では、水環境問題への理解を深めるために、水の特異な性質をやさしく解説したいと思います。

●9/28(日)② 15:00~16:30
「自分を輝かせるために—様々な自己実現と大学—」

県立新潟女子短期大学 教授 村屋 薫夫 教授 福嶋 秩子 助教授 石川 伊織

これまで、生涯学習という教養を身に付けることが主な目的でもありました。近年、働く女性が増え、また男性が大勢生涯学習に参加し始めるようになって、生涯学習に求められるものが変わりつつあります。家事・育児と仕事の関係を考えてきた女性研究者と、新聞記者と大学教員の二つの世界を知る男性研究者からの、経験談と提言をもとに、こうした変化の中で大学に何ができるのか、大学をどう利用したらよいかを考えます。

受講者 募 集

- ◆申込方法 / 往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・受講日及び受講希望講座番号・返信用宛先を明記の上、申込みをする。
- ◆申 込 先 / 〒950新潟市女池2066番地 新潟県立生涯学習推進センター (☎025-284-6110)
- ◆締 切 / 平成9年9月12日(金)当日消印有効
- ◆申込多数の場合 / 抽選で受講者を決定し、9月19日(金)までにお知らせします。

公民館施設紹介

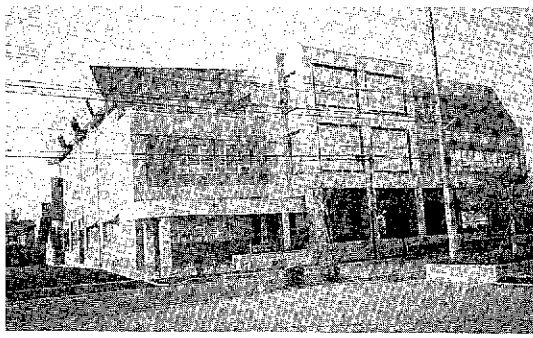
公民館であって、公民館でない施設登場―西新潟市民会館―

『新潟市に初めてのの有料部分と』

公民館(無料)の複合施設ができました

「もしもし、そちらは西新潟市民会館ですか?」「ハイ」「小針青山公民館は、どこにあるんですか。」「ハイ、それもこちらですよ。」「はあ?」

新潟市の西地区のちょうどまん中あたり、小針の水道局官舎跡地の閑静な住宅街の中に、西新潟市民会館は、平成9年4月オープンしました。



新潟市西新潟市民会館

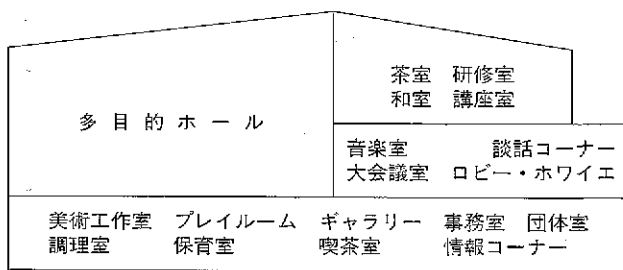
事業年度 平成6年度(基本設計)~平成8年度(建設工事)
総事業費 約31億円(内用地費約13億円)
敷地面積 3,540.49㎡(延床面積 3,848.74㎡)
構造 鉄筋コンクリート造3階建
施設 (文化活動部分) 名称「新潟市西新潟市民会館」
多目的ホール(300席)、茶室、ギャラリー
(公民館部分) 名称「新潟市小針青山公民館」
大会議室、調理室、美術工作室、音楽室、和室
プレイルーム、保育室、団体室、講座室、研修室
(その他)
事務室、喫茶室、ロビー・ホワイエ、談話コーナー
駐車場 41台

人口、約八万九千人の坂井輪地区公民館(新潟市には、十地区に基幹公民館があり、その地区公民館を中心に各分館があります。)の分館として、公民館(小針青山公民館)の機能と、公民館活動の枠をこえて広く文化活

動を行う場として、多目的ホール・茶室などの文化施設(西新潟市民会館)を併せもつ新潟市で初めてのタイプの複合施設として誕生しました。かねてより、「公民館を増やしてほしい」という住民からの要望が出されていたこと、新潟市に本格的な茶室がほしい」という茶道愛好家からの要望等が実現したもので

公民館部分には、音楽室、講座室、調理室などのほか、これまで公民館にはなかったプレイルーム(153㎡)、保育室(84㎡)といった施設もあり、プレイルームは、1・3土曜、平日の午後、第2・4土曜、日曜の午前午後、地域の子どもたちに開放しています。

文化活動部分には、2階と3階を吹き抜けにした300席収容の演劇用設備をもつた多目的ホール、3階には、受付、水屋を備え、置き石



をした庭を併せもつ本格的な茶室があり、毎月第3日曜日には、新潟市茶道連盟の皆さんによる市民呈茶が実施されています。4月にオープンして以来、92の定期利用団体のほか、多くの地域団体に利用されていますが、利用される市民の方が戸惑われる事がひとつあります。それは有料部分と無料部分が混在していることです。新潟市の公民館の使用料は無料ですが、社会教育法の規制によりお貸しできない団体があります。

【公民館部分】

「新潟市小針青山公民館」

Table with columns: 階 (Floor), 室名 (Room Name), 定員 (Capacity), 注意事項 (Notes), 施設・備品 (Facilities/Equipment). Rows include 和室, 講座室, 研修室, 大会議室, 音楽室, 保育室, プレイルーム, 調理実習室, 美術工作室.

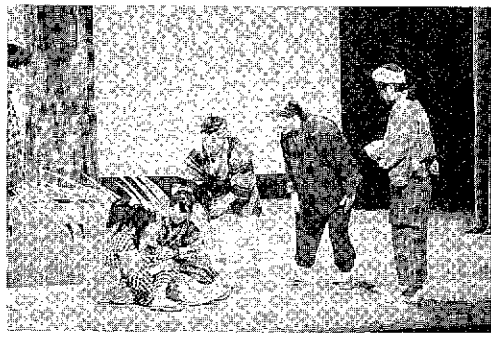
有料部分は、その規制が緩やかなため、こちらを借りることができる団体があちらを借りることが出来ない、そんなことがあります。市民に浸透するまで、受付では、説明の毎日が続いています。今後、これからのこうした複合施設の課題が、公民館のあり方を含めて、この施設で明らかになっていくのではないのでしょうか。(新潟市西新潟市民会館 主任 平田 栄子 記)

サークル交流

発足十年を迎えて

劇団「猫」(栃尾市)

63年4月「公民館演劇教室」として開講。当時は全く演劇を知らない者ばかりの集りで、まずはコミュニケーションからのろのろとスタート。とりあえずは公演しようと、第一作「花散野」に挑戦。取り組むうちに互いの気心も知れ、舞台作り、衣装や台詞回し、音響照明とそれぞれが意見を戦わせながら、迎えた初舞台は「公民館芸能祭」です。初めて塗るどうらん、待



つ間の緊張感はまだ忘れられませんが、そして、幕が降りた時の充実感、抱き合って感動したの、は言うまでもなく、それが病みつきになり、今も続けているゆえんでしょか。「花散野」は猫達の恋の物語です。それにちなみ、劇団「猫」と命名されました。平成7年からは、「夏休み子ども演劇体験教室」を開催、栃尾の昔話を中心に発表し、現在に至っています。

これからの課題は、団員を増やし、後継者育成に力を入れていくことです。まずは、9月14日の公演「姫」を観にきて下さい。

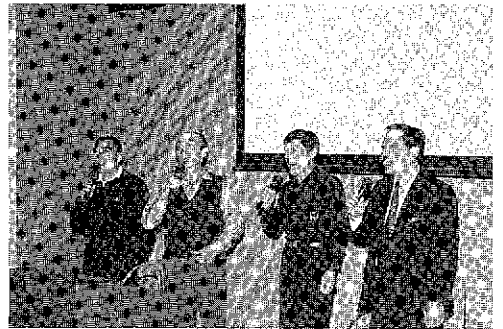
(高橋 久美子 記)

あなたのストレス

解消法は

カラオケ愛好会(朝日村)

「さあー、今日は取材が来てるから、北酒場でも歌おうかー」月に二回、公民館の視聴覚室を使つてのカラオケ大会。レーザーディスクと、ビデオプロジェクトは、カラオケボックスと同じ。無いのはアルコールと、おつまみだけ。歌い放題でお金がかからず、しかも貸切りとき



ているから最高。

現在会員数は七名(四十〜六十代)、このくらいの人数が歌うにはちょうど良い。

発表の場としては、文化協会の合同発表会に参加したり、踊りの会と一緒に慰問活動を行っています。当然会員間の親睦と、のどの調整を図るため適時スナック等で歌っています。また特に今年度は文化協会主催で「素人カラオケのど自慢」が計画されていますので、会員一同なお一層はりきっています。

歌が上手になることも大事ですが、大きな声を出すことによつてストレスを解消したり、仲間との親睦が図られればいいと考えています。

(代表 高橋 記)

三条市風南公民館

主事 金子久美子 氏

地域公民館の茶の間といわれ、精力的に活躍している彼女を紹介します。

昨年四月に当館に配属、保育所の保母経験を振り出しに、学校教育課等他課での行政経験豊富な彼女は、窓口での、人との接し方は大変うまく、さすが保母さんあがりです。また、家庭

では、二児の母親であり、公民館事業の、子ども共



素顔拝見

国、知的傷害者を対象とした、フレッシュ講座、子育てスクール等各事業に対しても、一緒に参加し、お互いのコミュニケーションを図り、おねえさんの存在で人との接し方は、さすがです。

家族と公民館の両輪を精力的におこなっているが、時にはお喋り、愚痴ることがあるも、ストレス解消かと思われる。

二年目になり、地域住民のニーズに応えるべく、思考しながら絆を大切にますますの、ご健闘を期待します。

(風南公民館長 三上 昇 記)

川西町教育委員会兼公民館

社会教育主事 星名知彦 氏

社会体育係六年目のベテラン職員である。

日体大卒のサラブレッドであり、それに加え国体冬季大会ジャンプ・コンバインド選手として六回出場、ほかにコーチ六回、監督一回という輝かしいスポーツ歴と、陸上公認審判員の資格も持っている。

彼のモットーは「くらしの中にスポーツを」であり、小学生から高齢者までのスポーツ事業は超多忙と思うが、難なくこなす、驚くべき努力家である。



企画・運営もあざやかなもので、中途半端の嫌いな

性格がその成功に結びつけている。また、反省評価も忘れない彼である。地域では、ともちゃんの愛称で人気抜群であり、家庭では美しい奥さんと一児のパパでもある。仕事と家庭の両立はなかなか大変とは思いますが、更なる活躍を心から期待する一人である。頑張れ星名君!

(川西町中央公民館長

保坂 国夫 記)

恵贈資料紹介

「年輪」

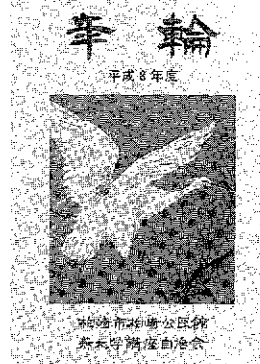


柏崎市柏崎公民館
「寿大学講座」が、平成
八年度も同大学講座自
治会の手によって『年
輪』という冊子を刊行
されました。

A5判56ページの冊
子で、この大学の講座
の特色ともいえる「自治会」に
よる大学運営の様子がよく分か
ります。
平成8年度前進の実績は、公
民館の全面的な理解と協力を得
て、洋画コースを新設された

柏崎市柏崎公民館
寿大学講座自治会

か。それと相まって熱心な指導
講師の下、二十九名の多くの受
講生が参加、全員が熱心にか
も喜びをもって学習され、秋の
展覧会には殆んど全員が作品を
出展されたとか。正に活気的な
成果を残されたようです。



恵贈資料紹介

「抜萃のつり」(その五十六)
『花かげの花守りたち』

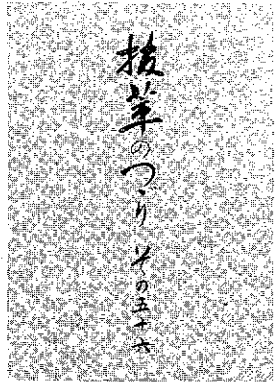
昭和6年創刊、四代六十年有
余にわたり、心にしみる感動喜
び等を抜萃して世に贈り続け五
十六集目を迎えます。

今回は昭和59年春、所は福岡市
赤牟田池畔。出来事は、この池
畔の桜並木を巡って道路拡幅の
ための開発伐採か、美的自然環
境保存かの問題。

株式会社 クマヒラより
株式会社 熊平製作所

土居善胤

ある桜愛好家の一市民が勇を
振るって花哀れに思いを込めて
色紙にマジックで、
筑前の花守り 進藤市長殿



抜萃のつり

その洋画コース受講者のKさ
んは「洋画コース一年生の成長
記録」と題し、①新入学の動機、
②はじめての学習、ここでは木
炭で石膏像を描いた様子、指導
の先生が一人一人皆違う個性を
生かす適切なアドバイスもなさ
れ、やる気が醸成されたこと。
③展覧会に向けては、絵の具を
使ったの写生開始で、今まで何
気なく見過ごしてたことが急に
新鮮に見え、絵の具を塗り重ね
て頑張ったこと④洋画を習って
良かったことでは、旅行はもち
論市内や工事現場を通っても描
画対象としてもものごとを見つめ
るようになり、楽しみが増えた
と解説しておられました。

エコー

この度 県公民館月報5月号
のネットワーク恵贈資料紹介欄
で、当町生涯学習推進基本構
想・基本計画をご掲載いただき
大変ありがたうございました。
基本計画の特徴が分かり易く、
簡潔にしかも的確に紹介されて
おりました。当町公民館長はじ
め職員一同感謝しております。
本年度当町では、生涯学習推
進本部及び生涯推進会議の設
置、そして基本構想・基本計画
に基づき、生涯学習推進実施計
画の策定が予定されております。
今年度もご指導のほどよろし
くお願い申し上げます。

(与板町派遣社教主事五十嵐力)

表紙解説
次第浜集落に伝わる
七日盆舟流し

聖籠町の夏の風物詩、次
第浜集落に伝わる舟流し
は、仏様を迎えるための行
事とされていきます。
舟の材料は、まこも(水
草を乾燥させたもの)で、
この舟にわら馬が乗せてあ
り、仏様が乗って来るもの
と伝えられています。

(聖籠町公民館提供)

あとがき

◇五月は正に多忙の月でした。
やすらぎ堤の業桜の美しさも
ゆつくり觀賞できず、村上大会
の現地実行委員との打合わせ、
新たに後援団体となる県小・中
学校長会、高等学校長協会の内
諾とりつけ、シンポジウムメン
バーの依頼状況等、鈴木館長さ
んとの電話・ファックス等によ
るやりとり回数が増加して参り
ました。六月になりますと、い
よいよ追い込みに入ります。各
市町村公民館におかれまても、
ご協力のほどお願いいたしま
す。

◇先号の恵贈資料紹介欄で、与
板町の生涯学習推進計画につい
て触れましたところ、上記のよ
うな礼状が届きました。嬉しく
感じ早速エコー欄を新設しま
しました。(鈴木記)

発行所 新潟県公民館連合会
〒951
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【TEL・FAX (025) 224-6073】
発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局長 鈴木友夫
【定価1部150円 年共1,800円】